



部下に言ってはいけない「社内NGワード」10

社員の時はうまくいっていたのに、「リーダー」のポジションに就いた途端にうまくいかない。リーダーとして頑張れば頑張るほど、部下との距離は開き、ドツポにはまる。そんな時、思わず部下の気持ちを遠ざけるこんな禁句を発していないだろうか？なぜダメなのか？ 正解は？ 人事コンサルタント・内海正人さんの解説付きでその代表事例を紹介しましょう。

■「だからあ」

部下が話をしているのに、その途中でイラついて、つい「だから」と遮ってします。「こんな上司に、部下が『報連相』を行うわけがありませんよね？ 部下の話は最後まできちんと聞いてあげましょう。

■「●●してあげたのに…」

事あるごとに、「●●してあげたのに…」と恩を着せる。これでは部下はたまらない。「部下は、何かをしてもらったから働くのではありません。リーダーの示す目標に向かって進みたいのです」



■「これ明日までにやっとして」

「これやっとして」。現場で頻繁に口にされるワードだ。「何の目的でやるのか。どの程度精度が必要なのか、こうした基本情報と一緒に、担当者をお願いするのが正解です。指示だけ出すのは乱暴です。」

■「もういい！」

仕事を任されていたはずなのに「もういい！」の一言でストップ。これではモチベーションは一気に低下する。「この一言を口にする前に、そもそも自分の指示は正しかったか、顧みるべきでしょう」



■「どうして髪、切ったの？」

「どうして？」としつこく外見の変化を聞いていく。セクハラととれかねない言動だ。「『髪切ったの？』と声をかけるのはいいのですが、プライバシーに踏み込んで理由を聞くことがNGなのです。」



■「何言ってるかわからない」

報告が下手な部下はいる。だからといって「わからない」と全否定しては、人心は離れていく。「この場合、『それってこういうことなの？』とフォローしてあげながら、報告を受けるといいでしょう。」

■「それ必要？」

部下の提案を一言で却下。こう突っ込まれれば部下はヘコむ。「この言葉は、部下の思考や判断する力を奪っていきます。提案理由をまずは受け止めて、NGの場合は、一緒に事後策を考えるのです。」

■「だから××世代はダメなんだ」

「××世代」と一括し絡がにされて傷つく人は多い。「特に今の20代にゆとり世代は禁句。その世代の中で、就職を勝ち撮った自負もある。注意の際は、世代で括らず、私に対して行えばいいのです」

■「ちゃんとしてよ」

ちゃんとしようと思っている。なのに、頭ごなしに叱りつけてくる。部下は我慢ならない。「上から目線の、根拠のないエラそうな言い回しに、部下は敏感です。家来ではなく仲間として接する事です。」

■「今忙しいから」

折角部下が勇気をだしてデスクに来たのに、「忙しい」と話も聞かない。「確かに手が離せないことはあります。そういう時は、いつならOKなのか、日時をその場で正確に明示しましょう」